

2002年FLASH

平成14年

経営環境の変化に対応し、諸施策を推進した1年

2002年の当社グループの動きを写真と年表で振り返ってみました。

開発案件等はプレスリリース日を基準に掲載しています。

2001年

12月

18日 トヨタとの画期的なハイドロフォーム成形機の共同開発を発表

27日 海外向けニューズレター「Nippon Steel News」を電子化、ホームページとメールマガジンで情報発信を開始



12月 世の中の主な出来事

22日 海上保安庁の巡視船が発砲、不審船が沈没
22日 アフガン暫定政権が発足

2002年

01月

1日 柔道部監督に岡泉茂氏が就任

31日 スチール製超軽量車プロジェクトULSAB・AVCの開発成果公表

高性能のハイテンを多用することにより、自動車の大幅な軽量化、燃費の向上と高いリサイクル性を通じて自動車の環境負荷の低減、高い衝突安全性と低価格が実現できることを公表した。



31日 「平成13年度省エネルギー優秀事例全国大会」で5製鉄所が受賞

君津は経済産業大臣賞、八幡は省エネルギーセンター会長賞、名古屋は中部経済産業局長賞、広畑は近畿経済産業局長賞、大分は九州経済産業局長賞をそれぞれ受賞した。

1月 世の中の主な出来事

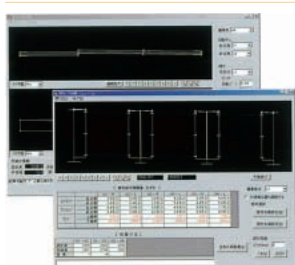
1日 欧州単一通貨ユーロの流通がスタート
15日 U.F.J.銀行が発足
25日 消費者物価指数3年連続下落でデフレ傾向が定着
29日 前年12月完全失業率5.6%で4カ月連続最悪更新

02月

4日 H.T.B.ハイテンションボルト専門メーカーの日鐵ボルトン(株)と神鋼ボルト(株)が相互連携実施に合意

14日 鋼橋3次元自動計測/仮組シミュレーションシステムの販売開始

鉄構海洋事業部は、当社開発の3次元プロダクトモデルデータベースによる鋼橋の自動計測/仮組シミュレーション



22日 釜石シーウェイブ新体制発足

監督制を廃止し、ヘッドコーチを中心にチームを編成した。ヘッドコーチに桜庭吉彦氏、事務局長に高橋善幸氏、主将は池村章宏選手が就任した。



27日 住友金属工業(株)と相互連携実施の合意

当社と住友金属工業(株)は、双方の競争力強化のための相互連携を実施していくことに合意、「連携推進委員会(仮称)」を設置した。



28日

神戸製鋼所加古川製鉄所向
けモールド電磁攪拌装置
(M-EMS)を受注
今回受注したものと同様の
設備は、すでに当社の各製鉄
所に導入済み、神戸製鋼所と
しては2機目となる。

6日

石川島播磨重工業(株)と製鉄
用高炉設備事業に関する協
業に合意
高炉およびその付帯設備の
新設・改修に関して、両社が
保有する設計・製作・工事等
の能力・経験を相互に活用
し、受注後のプロジェクトを
共同して遂行していく。

12日

北新建材(集団)とライセンス
契約を締結
中国最大建材メーカーの北
新建材(集団)有限公司との
提携により、スチールハウス工
法による住宅建設のスタン
ダード化をめざす。

14日

直接溶融・資源化システムの
相次ぎ竣工
当社が建設した直接溶融・資
源化システム(シャフト炉式ガ
ス化溶融炉)4施設(かずさ
クリーンシステム、秋田市御
所野事業所新焼却施設、香
川県東部清掃施設組合、新
潟県巻町外三ヶ町村衛生組
合)が相次ぎ竣工した。

31日

釜石シーウェイブスRFCに
マコーミック選手が加入
日本ラグビー界の名選手アン
ドリュー・ファアガスマコー
ミック氏が3年ぶりに現役復
帰、今春より釜石シーウェイ
ブスRFCに加入した。

2月 世の中の主な出来事

8日 第19回冬季五輪ソルトレ
イク大会が開幕

11日 サラリーマンの医療費3
割負担が決定

14日 京都議定書から離脱し
たブッシュ米大統領、独自
の地球温暖化対策を發
表

17日 ベルリン国際映画祭で
『千と千尋の神隠し』が
金熊賞を受賞

22日 雪印食品の会社解散が
決定

03月

1日 チタン事業スタートから20年
事業検討開始から20年にな
る当社が、今やチタン業界を
リードするに至り、より一層
の発展をめざす。

1日 高砂鐵工(株)がエンボスステン
レス鋼板「スパークシリーズ」
を商品化

6日

三菱重工業(株)と製鉄用連続
鑄造設備事業に関する協業
に合意
両社が保有するビレット、プ
ルム・スラブ連続鑄造設備
の設計・製作に関する設備技
術力や操業ノウハウ、および
両社の販売・サービス網を相
互活用・協力するとともに、
両社の技術を融合した連続
鑄造設備の計画および販売
も検討することとした。



14日

八幡がインライン熱処理レー
ル累計200万トン生産達成
八幡製鉄所条鋼工場では、昭
和62年10月に製造開始した
インライン熱処理レールの累
計生産量が200万トンに達
した。これを1本につなげる
と、総延長は地球をほぼ1周
する。

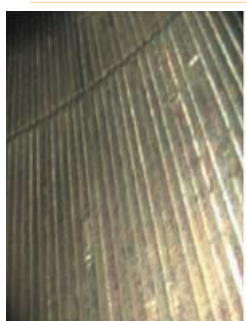


27日

クリーン・ジャパン・セン
ターから経済産業省産業技
術環境局長賞を受賞
環境・水ソリューション事業部
環境プラント技術部では、
クリーン・ジャパン・センタ
ーより「資源循環技術・システ
ム表彰式」において、日本鋪
道、金石市と共同で経済産
業省産業技術環境局長賞を
受賞した。

28日

日鉄ハード(株)が日本初の製
紙用ダイジェスターの内面に
肉盛溶接を施工



31日

君津第2製鋼工場が月産50
万トンの新記録達成
君津製鉄所第2製鋼工場では、平成12年3月期の46万6
千トンを上回る、月産粗鋼生
産新記録50万トンを達成し
た。



3月 世の中の主な出来事

14日 米国ウォルマートが西友
を事実買収へ

20日 日本政府、米国の鉄鋼セ
ーフガード発動に対し提
訴

04月

1日 本社と各所で入社式

182名の新入社員が入社した。

1日 都市開発事業部と(株)新日鉄都市開発が事業統合

新たな時代の街づくり・都市再生のために不動産ソリューションを提供できる体制が整った。

1日 大分製鉄所でIPPが稼働開始

当社で5基目となるIPP発電設備が営業運転を開始。発電技術に精通した強みを発揮することになった。



1日

「新日鉄の新・モノ語り」がホームページでリニューアル。当社の環境保全への取り組みを紙芝居風にわかりやすく紹介した動く絵本『新日鉄の新・モノ語り』をリニューアルして、ホームページで掲載を開始した。



1日 組織改正

ソリューション営業推進部の廃止、技術開発本部内組織の再編成(設備技術開発センターの「環境・プロセス研究開発センター」への改組)を実施した。

1日 原燃料配船実務を直接化・電子化するシステム「SEACON」の運用拡大(運用開始は2001年度下期)

原料第一部の代金決済実務とエヌエス・リソースネットの輸入貿易実務を統合

1日 日鐵物流(株)と日鐵流通センターが合併

1日 友和産業(株)が会社分割、ステンス精整專業会社(本社・富津)として再スタート

1日 室蘭・八幡で廃プラスチックリサイクル設備が竣工

1日 大同銅板(株)・大洋製鋼(株)が事業統合で合意

連結子会社の大同銅板(株)と大洋製鋼(株)は、両社のメッキ・カラー鋼板およびパネル等建材製品の製造・販売事業における体制を再編・事業統合することに合意した。



2日 堺ブレイザーズから3選手が全日本選手に選抜

バレーボールの2002年度全日本男子チーム・トライアウトの結果、伊藤信博・千葉進也・甲斐祐之の3選手が選ばれた。



甲斐選手



千葉選手



伊藤選手

11日 アルセロールおよびタタ製鉄との自動車鋼板技術協力契約を締結

インドの自動車用鋼板市場のニーズに応えるための技術面での協力を3社で行うこととした。これにより、インドの自動車メーカーが最新の技術を受け、競争力を強化することで、3社による全世界でのグローバルな事業活動の追求に資するものと期待される。

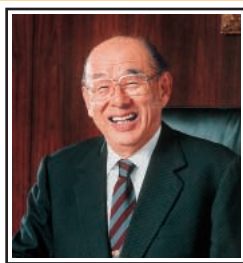
11日 千速社長とアルセロールのメ

ア会長、ドーレ社長(CEO)がパリで会談

当社とユジノールが昨年締結した「グローバル戦略提携契約」のもと、自動車メーカーのグローバル展開に対する協力を共同で取り組むための枠組みを整備し、具体的な成果をあげたことを評価・確認し、今後も提携の効果を最大限発揮する努力を継続することとした。

22日 斎藤英四郎社友名誉会長ご逝去

6月4日お別れの会が行われた。



23日 ティッセンクルップ スチール社と電磁鋼板協力契約を締結

当社とドイツ・ティッセンクルップ スチール社およびその子会社であるティッセンクルップ エレクトロカルスチール社は、電磁鋼板分野における技術協力関係の拡大・構築に向けて「電磁鋼板協力契約」を締結した。



25日 平成14年度発明改善社長賞決まる





1日 光製鉄所ホームページに「環境レポート」登場
ステレス事業部光製鉄所では、ホームページに「環境レポート」を掲載し、環境に取り組む姿勢を内外に示すこととした。

05月

4月 世の中の主な出来事
1日 パイオフ制度解禁
1日 みずほ銀行誕生
5日 みずほ、コンピュータシステム不備から引き落とし
26日 公正取引委員会、日航とJASの統合を承認

30日 新日鉄の新SCMシステム
トヨタ自動車(株)向けに稼働開始
当社が開発した、自動車鋼板分野における発注から納入までの一貫したサプライチェーンマネジメント(SCM)システム第一期を、トヨタ自動車(株)向けに運用開始した。情報一元管理システムは、自動車鋼板マーケットにおける初の試みとなる。



9日 関係会社環境会議を開催
関係会社を含めた環境パフォーマンス向上のため第1回環境会議を実施した。

9日 AKスチール社と電磁鋼板分野における技術協力関係拡大を合意
当社と米国AKスチール社は、電磁鋼板分野で従来からの技術協力関係の拡大を検討することを合意、具体的な協力項目の協議を開始した。

8日 新日鉄高炉セメント(株)がISO 9001を取得



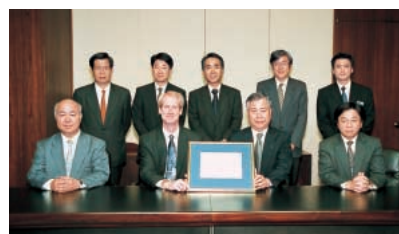
7日 「堺プレイザース」新体制発足
部長に小田勝美氏、監督にゴードン・メイフォース氏が就任した。



13日 大和製罐3ピースラミネート樽缶がコンクールで入賞
欧州容器用スチール材製造業者協会(APEAL)が主催する国際的なスチール容器のコンクール「EFFECTIVE NESS AWARD 2002」で、当社が材料供給している大和製罐(株)の「3ピースラミネート樽缶」が飲料容器部門の第3位に入賞した。

14日 タイで海洋プラットフォームおよび海底パイプラインをターンキーで受注
鉄構海洋事業部は、PETIEP社からタイ/シヤム湾に新規に建設する天然ガス開発用プラットフォーム1基およびパイプライン1連につき、設計・調達・製作・据付・試運転を含む工事一式を受注した。完工は2003年7月の予定。

20日 「HUFF」技術が初適用された物件でフィリップス・ペトロリアム社より感謝状
当社が一括受注・製造・出荷した東ティモール・豪州境界のLPG大型開発案件「Bay Undan Project」のプラットフォーム3基用鋼材が、施主であるフィリップス・ペ



トロリアム社より品質・納期面において高く評価され、感謝状が贈られた。

29日 鉄構海洋事業部のマレーシア現地関連会社NISCOMA社がマレーシアPCSB社向け海洋プラットフォームおよび海底パイプラインの輸送・施工ターンキー受注

31日 ソニー(株)より表面処理鋼板における「環境製品の開発・提案」で表彰
ソニー(株)が各種資機材納入会社を対象に行っている表彰において、当社は「環境製品の開発・提案を積極的に推進している」として感謝状が贈られた。



31日 クロメートフリー電気亜鉛めっき鋼板「ジンコート21」採用が急拡大
平成12年他社に先駆け本格採用以降、家電・OA向けを



1日 「ニッテススーパーフレーム」法「新たに展開
薄板事業部では、これまでの「スチールハウス」を含め、当社が開発・提案する薄板軽量形鋼を用いた低層建築向け工法を「ニッテススーパーフレーム工法」として全面的展開を図ることとした。

06月

5月 世の中の主な出来事
8日 中国の日本総領事館内で北朝鮮住民拘束事件
21日 衆院本会議で京都議定書批准を承認
31日 日韓共同開催によるサッカーワールドカップ開幕

中心に数十社に順調に採用されている「ジンコート21」(環境負荷化学物質の六価クロムをまったく含まない鋼板)が、地球環境保全の視点から出荷が急拡大、年内には月産1万トンを超える勢いになった。

5日 堺プレイザーズのマスコットキャラクター「我王」誕生

堺プレイザーズのマスコットキャラクター名を「我王（がおう）」に決定した。



5日 中国で連続溶融亜鉛めっき設備（CGL）を初受注

中国粗鋼生産量第6位の総合一貫製鉄所・馬鞍山鋼鉄有限公司から、年産能力35万トンの連続溶融亜鉛めっき設備を一式受注した。これにより、薄スラブ連鑄を上工程とする冷延CGLを中国で初めて建設、薄板分野に参入する。



13日 住友金属工業（株）とステンレス事業統合に関する基本覚書を締結

14日 東京製造所が小径シームレス鋼管の圧延高累計450万トン達成

東京製造所前身为日本特殊鋼管（株）戸田工場として昭和11年2月13日に圧延を開始して以来、66年4カ月での記録となる。

6月17日 千速社長が各所訪問で社員と交流

千速社長が、技術開発本部、君津製鉄所、名古屋製鉄所を訪問した。



19日 日本金属工業（株）と相互協力実施で合意

29日 日鉄海運（株）鉱石専用船「N SSDYNAMIC」が今治造船（株）西条工場にて竣工



6月 世の中の主な出来事

7日 国内総生産、1年ぶりにプラス成長を記録
7日 2001年の出生率、戦後最低の1.33%を記録
14日 日本、サッカーワールドカップで初の決勝トーナメント進出



07月

1日 日鉄溶接工業（株）と住金溶接工業（株）の溶材事業統合

1日 新潟県巻町三ヶ町村衛生組合向けごみ処理施設建設工事で安全衛生管理が特に優れていたとして、厚生労働大臣表彰・優良賞を受賞

2日 電気機器内部の熱を効率よく放熱する「高吸熱性銅板」を開発

吸熱性に優れ、電気機器内部の熱を効率よく外部に放出することができる「高吸熱性銅板」を開発した。

2日 北九州PCB廃棄物処理施設（第1期）建設工事を受注

9日 楽に嵌合できる「ラクニカ」の本格販売開始

当社と（株）クボタは、基礎杭工事の施工能率向上を実現する、大径鋼管杭・鋼管矢板用の機械式継ぎ手「ラクニカ」の本格販売を開始した。



13日 青木野枝さんが当社コルテン鋼を素材に兵庫県立美術館開館記念展で出品



15日 環境エンジニアリング（株）が日本産業機械工業会会長賞「優秀環境装置表彰」を受賞



22日 広畑製鉄所の長年の海事貢献に対し「海事関係功労者国土交通大臣表彰」

22日 千速社長が大分製鉄所を訪問

23日 自動車技術展でULS AB・AVCプロジェクトの開発成果を報告・展示

自動車へのハイテン活用を極限まで追求する同プロジェクトでは、新日鉄のスチール・ソリューションで軽量化と衝突安全性を同時達成。バーチャルモデルでハイテンの適用可能性を実証した。

25日 君津製鉄所が新設した原料の飛散を大幅に抑制する防風ネットが効果を発揮



29日 中国宝山鋼鉄有限公司向け1号CGL・C・A・P・Lを受注

宝山鋼鉄有限公司第4冷延工場の主力設備である自動車用1CGL（年産能力45万トン）とC・A・P・L（年産能力95万トン）の設計、製作、据付・試運転調整のスーパーバイザー派遣、トレーニングを一式受注した。

30日 チタンマフラーが四輪車で採用される

チタンマフラーが富士重工業(株)の「インプレッサ2002S Tバージョン」、日産自動車(株)の「新型フェアレディZ」(オプション装備)に採用され、四輪車でも高く評価された。



30日 名古屋製鉄所が無梱包コイル月間出荷量5万トン達成

7月 世の中の主な出来事

21日 米国通信大手のワールドコム、エンロンを上回る米史上最大の倒産
22日 サッカー日本代表監督にジーコ氏が就任
30日 2003年4月のベイオフ全面解禁は見送りへ

08月

1日 当社ホームページの「新日鉄グループ頁」をリニューアル
グループ会社の最新情報のタイムリーな掲載を開始した。

1日 千速社長が広畑製鉄所を訪問

3~4日 堺プレイザーズが第22回サマリーグで優勝

第22回サマリーグ(愛知県春日井市総合体育館)でバレーボールの堺プレイザーズが16年ぶりの優勝を果たした。



6日

古河電気工業(株)とスカイアルミニウム(株)がアルミ事業統合検討について合意

7日

『みんなの地球の 新・モノ語り』を発行
昨年発行して好評を得た『地球にやさしい 新・モノ語り』の続編として、『みんなの地球の 新・モノ語り』を発行した。



9日 君津UO鋼管ラインが累計造管量1千万トン達成

昭和45年6月の営業運転開始以来32年2カ月での達成となる。

12日 光製鉄所電縫鋼管工場が中径管累計生産量800万トン達成

昭和33年8月に、当時最新鋭の4 1/2インチから14インチまで生産できる電気抵抗様式のミルでスタート、その後51年に20インチ、55年に24インチ(国内トップクラス)とサイズアップし、高級鋼管製造基地として着実に発展を続けてきた。

15日 釜石が大分と社内初のメインフレーム統合完了

釜石製鉄所は、所内のメインコンピュータを廃止し、大分製鉄所のメインコンピュータを活用した「メインフレーム統合」を完了、16日より操業を開始した。



名古屋市立堀田小学校からたくさんの反響が

文芸春秋掲載の広告(右写真)をもとに、当社の環境保全への取り組みがわかりやすかつづられている。

22日 戦略特許発明の出願に貢献した4名の社員に金賞が授与された



27日 当社と大成建設(株)が渋滞を解消する立体交差化施工方法「ダウニングブリッジ工法」を共同開発

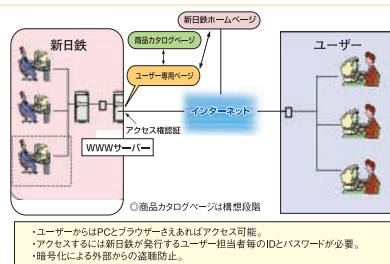
27日 君津野球部が都市対抗野球で健闘

君津野球部が、第73回都市対抗野球大会(東京ドーム)に3年連続6回目の出場を果たした。初戦は東海第3代表の一光にサヨナラ勝ち。2回戦はホンダ熊本に惜敗した。



eCONTACTを展開

2年前から始めた当社とユーザー双方をインターネットで結び、情報を共有化するeCONTACTで、商談や技術情報の提供が積極的展開されている。環境・水ソリューション事業部環境ソリューション事業センターでも、環境メールマガジンの配信を始めた。



◎商品カタログページは構想段階
・ユーザーからはPCとブラウザーさえあればアクセス可能。
・アクセスするには新日鉄が発行するユーザー担当者毎のIDとパスワードが必要。
・暗号化による外部からの盗聴防止。

8月 世の中の主な出来事

5日 住基ネット、横浜市や東京都杉並区など6自治体を除き全国で稼働開始
16日 ナスダックが日本から撤退
26日 環境開発サミット(持続可能な開発に関する世界首脳会議)開幕

09月

2日 千速社長が室蘭製鉄所を訪問

3日 新工法「ソイルセメント鋼製地中連続壁工法」を開発

当社および主要セネコン34社で構成する「鋼製地中連続壁協会」が新工法「ソイルセメント鋼製地中連続壁工法」を開発。国土技術研究センターの技術審査証明書が交付された。

9日 「環境報告書2002」を発行

環境部では、通算5冊目の「環境報告書2002」を発行した。今回は、これまで寄せられた意見や法制度の動向等を踏まえ、「層の情報開示と「わかりやすさ」を実現した。



9日 千速社長が釜石製鉄所を訪問

27日

ユニプレス(株)株式の購入
当社は日産自動車(株)の保有するユニプレス株式の一部を購入した。これにより各社のユニプレス株式の保有率は日産自動車14.7%、当社14.4%、三井物産1.2%となった。

29日

中国におけるスチールハウスの合併事業開始
当社とトヨタ自動車(株)および三菱商事(株)は、中国・北京市の建材メーカー北新建材(集団)有限公司と合併で、中国においてスチールハウス住宅事業を展開する合併契約を締結した。



9月 世の中の主な出来事

12日 インドネシア・バリ島で爆弾テロ事件

17日 史上初の日朝首脳会談、金総書記が拉致の事実を認めて謝罪

20日 財務省が「国の貸借対照表」発表、債務超過額は最大で869兆円に

22日 日中国交正常化30周年

10月

1日 大同銅板(株)と大洋製鋼(株)の事業統合により日鉄銅板(株)が発足

新日鉄グループにおける建材薄板事業の中核会社であった両社の事業統合により、技術力と東西の生産拠点、販売チャネルの融合を図り、高度化するユーザーニーズに最高のソリューションを提供する体制が整備された。

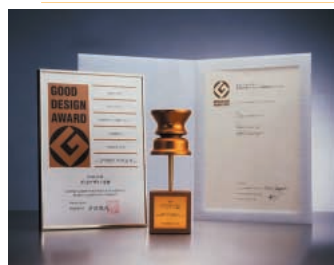


1日 営業PR誌「ニッポン・スチールマンズ」のホームページ掲載を開始

1日 不動鋼板工業(株)が蛍光灯反射板「ティンブライト」を販売開始

1日 鹿プラスチックリサイクルがグッドデザイン賞金賞

当社の「コークス炉による廃プラスチックリサイクル」が



2002年度グッドデザイン賞金賞(経済産業大臣賞)を受賞。さらに大賞候補にもノミネートされた。

1日 滝沢村清掃センター(岩手県滝沢村向け)竣工

5日 『日本—その姿と心』最新改訂版を刊行

当社監修のロングセラー書『日本—その姿と心』(学生社刊)が内容を全面改定、新版(第7版)を刊行した。

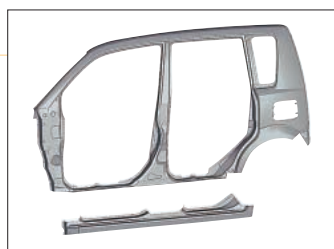
9日 インドネシア/プレミア社向け海洋プラットフォームおよび海底パイプラインのターンキー受注

鉄構海洋事業部とエネルギーエンジニアリング事業部は、プレミア社からインドネシア/ウエストナツナ海域に新規に建設する天然ガス開発用プラットフォーム1基およびパイプライン1連につき、設計・調達・製作・据付・試運転を含む工事一式を受注した。

11日 新日鉄ソリューションズ(株)が東京証券取引所市場第一部に上場



15日 世界初自動車用サイドパネルに40・45キロ級高張力鋼板採用
当社の高張力鋼板(ハイテン)採用のダイハツ工業(株)の軽乗用車「ムーヴ」が発表された。



15日 サハリン1陸上・海底パイプラインプロジェクトの受注
エンジニアリング事業本部は、ロシア石油ガス建設事業推進のための当社子会社NSネフテガスとロイとともに、サハリン1コンソーシアムのオペレーターであるENL社より、サハリン1陸上・海底パイプライン建設工事一式(設計・調達・施工・試運転)を受注した。

12~19日 八幡・君津野球部が日本選手権で健闘

第29回社会人野球日本選手権大会で、八幡野球部は2回戦まで駒を進め、君津野球部は、初のベスト4進出を果たした。

17日 響灘で風力発電事業を開始
当社は日本風力開発(株)とともに(株)エヌエスウインドパワーひびきを設立、北九州市若松区の響灘地区で当社初の風力発電事業を開始することを発表した。



22日 米国・新タコマ橋向け建設関連工事受注
鉄構海洋事業部は、川田工業(株)と共同で米国ワシントン州に建設中の新タコマ橋建設関連工事を受注、米国大手ゼネコンのベクトル社とキーウイット社から構成される元請ジョイントベンチャーと正式契約した。

23日 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞
環境・水ソリューション事業部環境プラント技術部は、釜石市清掃工場、日本舗道(株)と共に、リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰を受賞した。これはすでに釜石市の公共工事で採用されている溶融スラグ入りアスファルト骨材が、廃棄物の排出抑制と資源化に直結する実績が評価されたもの。

24日 画期的な耐食性を誇る「新S・TEN1」を発売
当社は塩酸等に対する耐食性を飛躍的に向上させた低合金耐食鋼材「新S・TEN1」を開発、販売を開始した。



25日 新日鉄化学(株)「エスバネックス」最新型携帯電話の需要急伸などにより生産能力を年間400万mへ倍増することを決定

26日 中国／無錫東元電機有限公司への出資
当社は東元電機股份有限公司、中国鋼鐵股份有限公司、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)、住友商事(株)と、中国無錫で大・中型モーターの製造・販売を行う「無錫東元電機有限公司」に共同出資することで基本的合意に達した。



28日 上下水処理施設操業メンテナンス会社(株)日鉄ウオーター設立
環境・水ソリューション事業部は、環境エンジニアリング(株)と共同出資による自治体向け上下水道施設操業メンテナンス会社「(株)日鉄ウオーター」を設立。これにより、新日鉄グループとして上下水道事業における一貫業務遂行体制が整った。

28日 電磁鋼板製造技術が「東京クリエーション大賞」特別賞受賞
当社の電磁鋼板が、東京ファッション協会より第16回「東京クリエーション大賞」の特別賞を受賞した。

10月 世の中の主な出来事
4日 喫煙被害訴訟で米たばこ大手フィリップ・モリスが280億ドルの懲罰的賠償の評決
8日 ノーベル物理学賞を小柴昌俊・東大名誉教授が受賞
9日 ノーベル化学賞を島津製作所の田中耕一氏が受賞
15日 北朝鮮拉致被害者5人が24年ぶりに一時帰国
29日 日朝国交正常化交渉、マレーシア日本大使館で再開

11月

1日 省エネに貢献する薄手高効率電磁鋼板メニューを充実
当社は超高速(数万回転/分)モータ用の「高張力電磁鋼板」と、ハードディスクドライブ(HDD)等用途に適した「高トルク・高加工性電磁鋼板」を開発した。

1日 芝園清掃工場(千葉県習志野市向け)竣工

6日 静電気の発生を防ぐ「帯電防止型ビューコート」新発売
静電気が発生しにくい塗装鋼板「帯電防止型ビューコート」の本格販売を開始した。

11日 カラークリヤー塗装ステンレス鋼板、冷蔵庫に採用
当社と大日本印刷(株)、大日本エリオ(株)が共同開発したカラークリヤー塗装ステンレス鋼板が、三洋電機・東芝・三菱電機の最新型家庭用冷蔵庫の前扉材として採用された。



14日 新たなビジネスモデルのさらなる前進
当社・住友金属工業(株)間の熱延鋼板協力・さらなる連携強化と相互出資に関する協定を締結。
当社・(株)神戸製鋼所のさらなる連携強化と相互出資に関する協定の締結。

当社・住友金属工業(株)・神戸製鋼所の3社間提携検討委員会を設置。
当社と住友金属工業(株)のステンレス事業統合について平成15年10月を目処とすることを決定。



19日 TOST NETZにより自己株式を取得

20日 公務員赤羽宿舎赤羽住宅(仮称)整備事業を落札
国による初のPFI事業であるプロジェクトで、建築事業部を代表幹事とする企業グループが優先交渉権者として選定された。

20・28日 社長各所訪問

千速社長が20日に堺製鉄所、28日に八幡製鉄所を訪問、所員をねぎらうとともに、生産拠点としてより一層の競争力強化を訴えた。

27日

「コークス炉化学原料化法によるプラスチックリサイクルの推進」がウエステック大賞2002（環境大臣賞）を受賞

27日

POSCO E&C社への直接溶融炉技術供与について合意

当社とPOSCOのエンジニアリング子会社であるPOSCO E&C社は、当社が保有するごみ直接溶融炉（シャフト炉型ガス化溶融炉）の技術供与について正式合意に至り、契約調印した。



29日

八幡野球部の廃部と、広畑野球部の同好会への移行を発表

名古屋・君津両野球部は、平成15年のシーズンより「広域チーム」として再出発する。

30日

幡多クリーンセンター（高知西部環境施設組合向け）竣工

11月 世の中の主な出来事

5日 ASEAN首脳会議、北朝鮮に核開発停止要求の議長声明を発表

6日 米中間選挙で共和党が上下両院で過半数獲得

8日 国連安保理、イラクに国連査察の完全実施を求める。13日イラク受諾

20日 中国が鉄鋼セーフガードを正式発動

21日 高円宮さま急逝

12月

2日

君津N.O.2ダストリサイクル設備本格稼働

稼働に伴い、N.O.1設備と合わせて年間約30万トンの余剰ダスト・スラッジが再資源化され、これによりダスト・スラッジのリサイクル率はほぼ100%となる。広畑では一貫工程での省エネ、エネルギーコストの削減効果、光ではリサイクル率向上と併せてニッケル利用による大きな経済効果を得ている。



君津

3日

第13回新日鉄音楽賞の受賞者決定

フレッシュアーティスト賞にピアノの小菅優さん、特別賞にニユー・オペラ・プロダクション代表の杉理一さんが選ばれた。



7日

当社専務の豊田彰夫氏逝去

5・7日 エコプロダクツ2002開催

当社は、「コークス炉による廃プラスチック再資源化プロジェクト」と、ニッケンメタル（株）「屋上パレット工法（屋上緑化）」を展示。「循環型社会の構築」と「地球温暖化防止」への貢献をアピールした。会場では、小中学生対象にクイズ・絵本を配布。社員らの熱心な説明に子供たちが聞き入った。



11日

釜石製鉄所が全天候バスに着手

釜石製鉄所北棧橋で全天候バース建設の起工式を行った。

12日

（株）鉄電磁テクノが発足
昨年7月に当社系列の関東電磁鋼センター（株）と経営統合した（株）電磁テクノ中部が、当社の出資比率向上により、連結子会社となり、社名も新しく本年1月1日より「（株）鉄電磁テクノ」となった。



12月

世の中の主な出来事

2日 小沢征爾氏にオーストリ

ア政府が文化関係最高位の勲一等十字勲章を授与

9日 米ユナイテッド航空破たん

11日 毒物カレー事件林真須美被告に死刑判決



広畑



光